

衆議院原子力問題調査特別委員会ニュース

平成 29.9.14 第 193 回国会第 6 号（閉会中審査）

9 月 14 日（木）、第 6 回の委員会が開かれました。

1 理事の補欠選任

・理事の補欠選任を行いました。

理事 関 芳 弘君(自民) (理事土井亨君去る8月7日委員辞任につきその補欠)

理事 初 鹿 明 博君(民進) (理事木内孝胤君去る8月 23 日委員辞任につきその補欠)

2 原子力問題に関する件

・田中原子力規制委員会委員長から発言がありました。

3 原子力問題に関する件（原子力規制行政の在り方）

・参考人（黒川清君、橘川武郎君、鈴木達治郎君、益田直子君）から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）政策研究大学院大学名誉教授

黒 川 清君

政策研究大学院大学客員研究員

石 橋 哲君

東京理科大学イノベーション研究科教授

橘 川 武 郎君

長崎大学核兵器廃絶研究センター長・教授

鈴 木 達治郎君

拓殖大学政経学部准教授

益 田 直 子君

（質疑者及び主な質疑内容）

大 西 英 男 君（自民）

- ・東京電力が柏崎刈羽原子力発電所（以下「柏崎刈羽原発」という。）の再稼働をできれば、自己努力によって、国民負担を最低限に軽減して行えるという試算に対する橘川参考人の見解を伺いたい。
- ・東京電力の資産を売却すれば、東京電力福島第一原子力発電所（以下「福島第一原発」という。）事故の処理費用は全て賄えるのか、国民負担は不要になるのか、橘川参考人の見解を伺いたい。

阿 部 知 子 君（民進）

- ・柏崎刈羽原発の再稼働に向けた審査における、東京電力の事業者としての適格性をいかなる点ではかるのか、黒川参考人及び橘川参考人に、また原子力規制庁の技術的独立性について鈴木参考人に見解を伺いたい。

藤 野 保 史 君（共産）

- ・我が国の核燃料サイクル政策の見直しが避けられないとする理由、また、世界でプルトニウム削減が求められる中で我が国の原発再稼働とそれに伴う全量再処理路線を持つ意義について、鈴木参考人の見解を伺いたい。

- ・北朝鮮の核・ミサイル開発問題でアジアの安全保障が重要な局面にある中で、我が国の核燃料サイクル及び原発輸出政策についての鈴木参考人の見解を伺いたい。

塩 川 鉄 也 君（共産）

- ・福島第一原発事故原因等の検証が途上である中で、東京電力の原子力発電所再稼働の適格性が判断できる状況にあるのか、橘川参考人及び鈴木参考人の見解を伺いたい。
- ・議会による行政監視機能の強化に向けた課題及びその方策について、益田参考人の見解を伺いたい。

中 野 洋 昌 君（公明）

- ・福島第一原発事故後の原子力規制行政の機能及び国会の監視の評価と改善点について、橘川参考人及び鈴木参考人の見解を伺いたい。
- ・我が国の議会による行政の監視が国際的に低い評価を受けている理由及び改善点について、益田参考人の見解を伺いたい。

足 立 康 史 君（維新）

- ・柏崎刈羽原発の再稼働に関し、政府（経済産業省）と

原子力規制委員会がお互いに責任を取らない体制になっていることは問題と考えるが、黒川参考人、橘川参考人及び鈴木参考人の見解を伺いたい。

- ・使用済核燃料の有毒性低減のため高速炉が必要と考えるが、橘川参考人及び鈴木参考人の見解を伺いたい。

石川昭政君（自民）

- ・米国原子力規制委員会（NRC）と同様に日本においても安全目標を定める必要があると考えるが、黒川参考人の見解を伺いたい。

菅直人君（民進）

- ・北朝鮮のミサイル発射に対する警戒態勢をとる以上、稼働中の原発を停止し危機管理を徹底すべきではないかと考えるが、黒川参考人及び鈴木参考人の見解を伺いたい。

初鹿明博君（民進）

- ・北朝鮮のミサイル発射を踏まえ、原発が日本海側に集中立地している現状をどのように捉えているか、また、避難計画ではテロ等の被害を想定しておくべきと考えるが、黒川参考人、鈴木参考人及び橘川参考人の見解を伺いたい。
- ・従業員の信頼性確保に関する法制化が見送られた理由に関する鈴木参考人の見解を伺いたい。
- ・GAOが出来たとしても現状の日本における政党の在り方や国民が政治家を選ぶ意識が変わらない限り、議会による行政監視はうまくいかないのではないかと考えるが、益田参考人の見解を伺いたい。